



#脱・スマホ子育て

スマホより、おもしろい時間を。

ららぽーと「脱スマホ・ファミリー席」ご提案

Evo.

GOAL

01

初めてから 卒業まで、 通い続ける場所へ。

- 来店動機を増やすより、来てよかった満足を
- ファミリーを常連化 (LTV向上)



ららぽーとは、 家族の成長のそばに。

VISION / あるべき姿

スーパー起点 (イオン)



・イオン=スーパー起点・地域が主語

家族起点 (ららぽーと)



・ららぽーと = 家族を起点に生まれたモール

すでに、週末の受け皿になっている。

FACT / ららぽーとの武器



1 家族起点のブランド



2 一日が完結する密度



3 とりあえずモール



一緒にいるのに、スマホ

1 ママの6割超が罪悪感

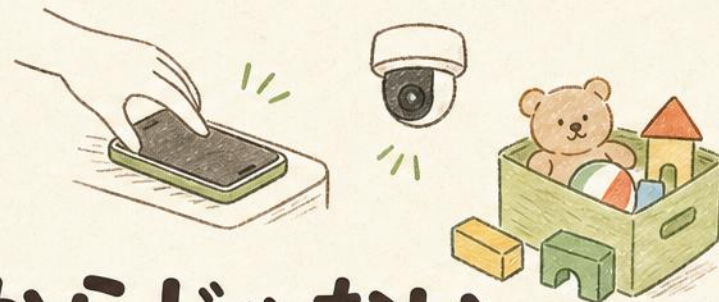
6割超

2 7割がスマホ使用に不安

7割

3 “スマホネグレクト”という言葉も

スマホネグレクト



負けるのは、意志が弱いからじゃない。

- スマホは“つい触るよう”プロが本気で設計
- 家族時間の側には、味方がいなかった
- 土俵が、不公平だっただけ

スマホ



勝つように設計されている

VS

家族の時間



味方がいなかった

ららぽーとが、 家族時間の“味方”になる。

- 1 ・ スマホより面白くて、ラクな時間を作る
- 2 ・ 撮り逃しは、施設が引き受ける
- 3 ・ 手放せるのは、手放しても面白いから



07

RULE

4つが揃って、はじめて成立する。

RULE / 成功の条件



01

安心の設計

(ローカル・即削除)



02

来る実益

(手ぶら席)



03

赦しのトーン

(親を責めない)



04

広がる仕掛け



08

ACTION

脱スマホ・ファミリー席

ACTION / 中心施策

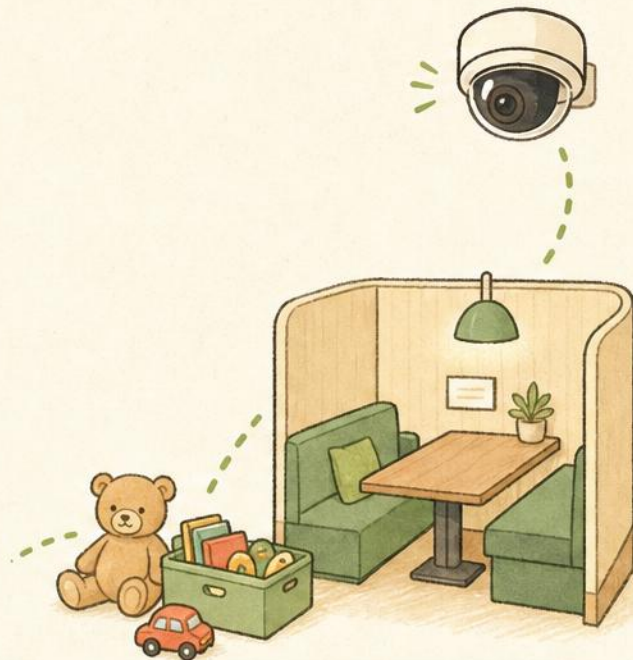
- スマホを置く=入場の“認証”
- 見守りカメラが自動録画→即削除
- 高い仕切りで、騒いでもOK



08 ACTION

荷物も、スマホも、 置いていい。

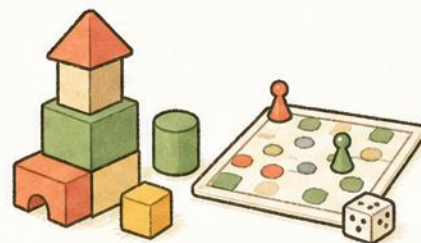
ACTION / 手ぶらで来られる席



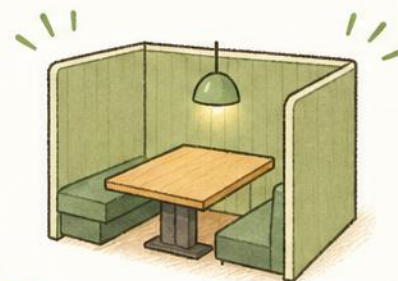
01 ・離乳食 + 温めレンジ



02 ・お子様メニュー・
カトラリー・エプロン



03 ・おもちゃ・ボードゲーム



04 ・高い仕切りの個室性

08

ACTION

一度きりで、 終わらせない。

ACTION / 通い続ける仕掛け

- 3,000円ごとに席チケット1枚
- 卒業に“家族成長ムービー”を贈る



はじめて → 毎回 → 卒業

FLOW / 3つのタッチポイント



1 はじめて

- はじめて：会員登録



2 毎回

- 毎回：席で過ごす＝記録が積み上がる



3 卒業

- 卒業：成長ムービーを贈る



10

IMAGE

#おもしろ子育てビデオ で、勝手に広がる。



- 撮り逃した
“神シーン”が残る



- 演出写真の逆。
自然だからシェアしたくなる




* CONTRACT


まずは6席から、 小さく始める。



CONTRACT / 座組・コスト

 ・初期費用：約290万円

 ・運用：月10万円想定

 ・ローカル AIは稼働コスト0



カメラ 60万

PC 30万

施工 100万

開発 100万

合計 **290万**

スマホを置いた、
その手で。
子どもと、
向き合える場所を。

